

# 第69期 定時株主総会 報告事項

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

NIPRO

ニプロ株式会社

# 事業の経過および成果

▶ 招集ご通知26～27ページ

## 世界経済

感染症拡大の影響が継続するも、経済活動は活発化

➤ 景気持ち直し

原油価格高騰に伴う 資材・エネルギー価格、  
運送費等の高騰

ウクライナ情勢

➤ 経済活動の一部制限など

先行き不透明な状況が続く

## 日本経済

ワクチン接種の進行により経済活動正常化に向かうも

➡ 依然として先行き不透明な状況が続く

## 医療機器・医薬品業界

ワクチン接種の進行

➡ 診療環境の回復

## ●ニプログループの取り組み

国内シェア拡大

海外売上の拡大

生産コスト低減

ユーザー目線に立った製品開発



# 業績向上に努める

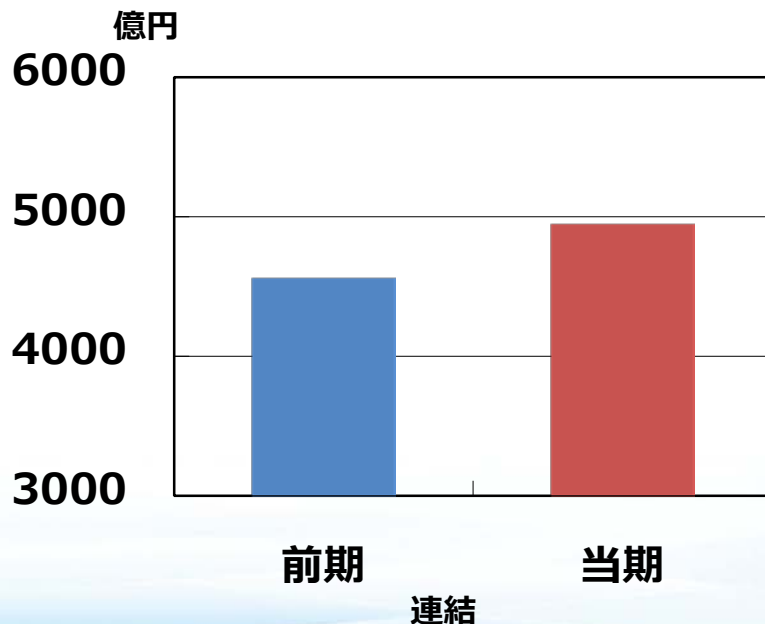
## ●ニプログループの取り組み

様々な状況に対応できる診療環境の整備が進む



安全な診療環境の整備の一翼を担うべく  
医療機器・医薬品メーカーとしての責任と役割を果たす

## 連結売上高 4,947億89百万円 (前期比8.6%増加)



- ・ 注射関連製品、医薬用容器の販売が順調に推移
- ・ 一部診療科関連製品の需要回復
- ・ 海外の透析関連商品の販売が順調に推移

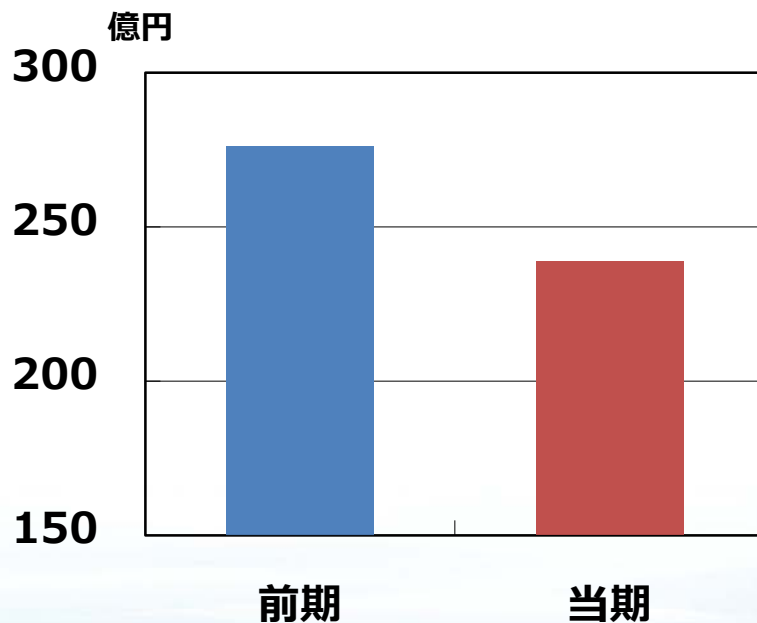
- ・ 半導体不足により国内では医療器械類、検査機器類の売上に一定の影響

単体売上高 3,311億71百万円  
(前期比1.1%減)

## 連結営業利益

# 238億82百万円

(前期比13.6%減少)



連結

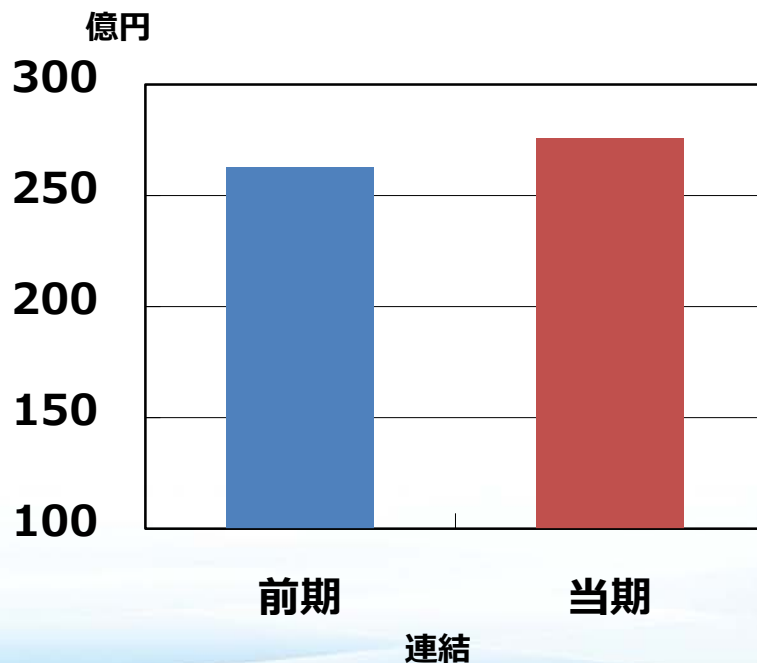
- ・ 一部海外工場の操業停止
- ・ 安定供給優先のロジスティック戦略による在庫増加・物流コスト増加
- ・ コンテナ費高騰による輸送コスト増大
- ・ 原油価格高騰による原材料コスト増大
- ・ 決算賞与の差額精算による追加支給の影響

単体営業利益 116億4百万円  
(前期比6.4%減)



## 連結経常利益

**275億83百万円**  
(前期比5.0%増加)

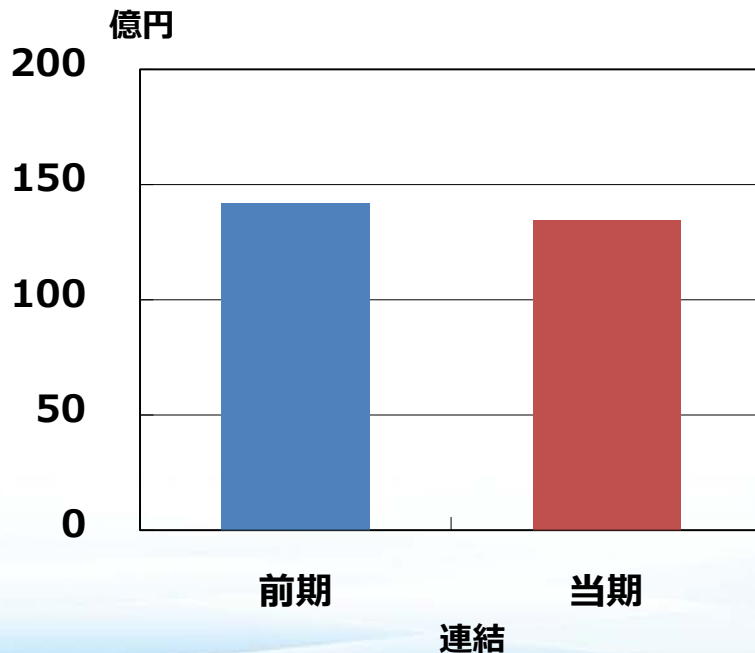


- ・当期の為替レートが円安に推移  
(特に年度終盤の大きな円安変動)  
による為替差益計上

単体経常利益 175億38百万円  
(前期比6.4%増)

## 親会社に帰属する当期純利益

**134億55百万円**  
(前期比5.3%減少)



- ・ 子会社ののれん、固定資産の減損損失
- ・ 貸倒引当金繰入額等の特別損失
- ・ 課税所得の増加
- ・ 非支配株主に帰属する当期純利益の増加

単体当期純利益 107億43百万円  
(前期比10.3%増)

# セグメント別の概況

▶ 招集ご通知28～31ページ

### ● 国内販売

ワクチン接種進行により  
市場環境は回復傾向にあったが



2022年の年初の変異株の影響により感染者急増

➤ 厳しい市場環境が続く

### ● 国内販売 メディカル営業部門



各診療分野とも  
堅調に推移



透析装置

半導体不足により  
低調な推移



ワクチン接種用  
注射針、シリンジ

堅調な推移



### ● 国内販売 医薬営業部門

ニプロ製品の  
信頼度増加

当社後発医薬品の  
採用につながる

地域薬剤師会などで  
勉強会を実施



### ● 海外販売

新型コロナウイルス感染症の影響は続くも  
営業活動正常化

➤➤ ホスピタル関連製品・透析商品の販売  
堅調に推移



当期も増収増益 

## ● 海外販売

### ■ 自社透析センター

中南米に加え  
中国、アジア各国で市場を拡大

### ■ 販売拠点

シンガポールを中心に組織再編  
ベトナム、フィリピン、タイで拠点開設  
中国市場の販売拠点の増強継続





## ● 海外販売

### ■ 物流

#### ➤ 運送費の高騰

船舶の確保が困難な状況

物流改善に取り組みながら  
安定供給の継続を目指す

### ● 海外生産拠点

原材料・エネルギー等価格高騰の継続による

原価上昇

➡➡ 生産性向上・経費削減を図り  
生産コストの抑制に努める

各生産拠点における新規感染者の再増加

➡➡ 一時的に操業停止となる事態が発生

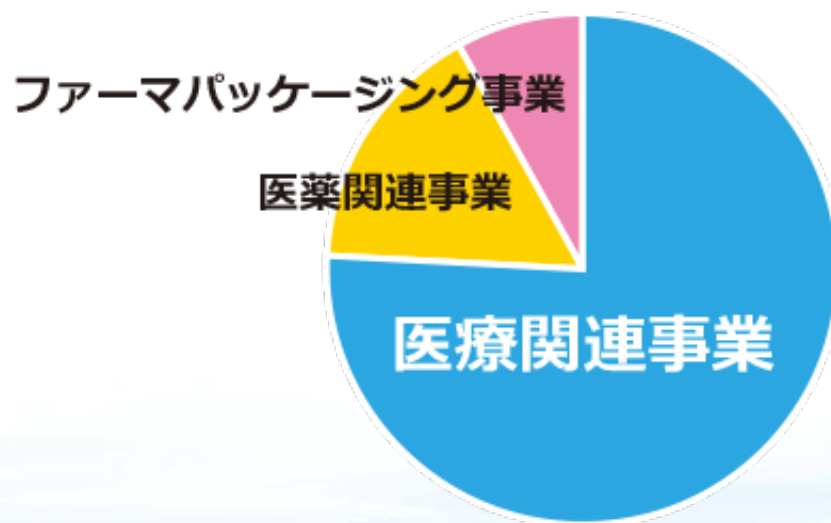
➡➡ それ以降は感染対策を徹底し生産活動継続



# 医療関連事業の売上高

# 3,734億81百万円

(前期比8.6%増加)



※ニプロJMIファーマ Ltd.について報告セグメントの区分を医療関連事業としておりましたが、当社グループの組織管理体制の見直しに伴い、医薬関連事業に含めることに変更しております。

注射剤、経口剤、外用剤あらゆる剤形において、  
様々な顧客ニーズに応えることで事業を拡大

複数の新規受託製品において  
本格的な出荷の開始

後発医薬品の需要の増加

➤➤ 売上拡大に貢献 ↗

- ・ 感染症拡大による受注減少
- ・ エネルギー価格高騰による原価上昇

➡➡ 売上高、利益の減少 ↓

生産効率の改善、サプライチェーンの見直し等により  
取り組むことにより対処

2022年3月 福島県沖地震でニプロファーマ 鏡石工場が被災

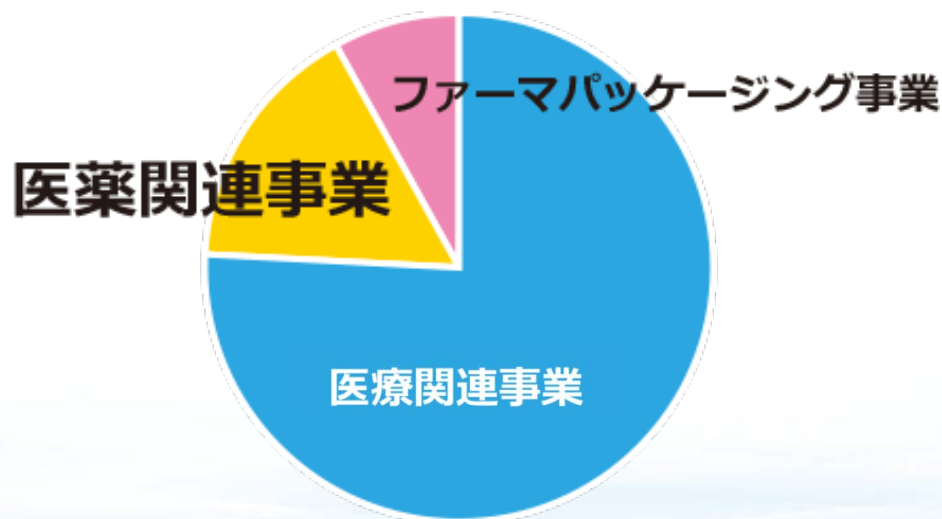
➡➡ 2週間で製造再開

予定されていた出荷数量に影響なし

# 医薬関連事業の売上高

# 743億86百万円

(前期比2.8%増加)



※ニプロJMIファーマ Ltd.について報告セグメントの区分を医療関連事業としておりましたが、当社グループの組織管理体制の見直しに伴い、医薬関連事業に含めることに変更しております。

**開発・製造・販売・マーケティングの  
一体的強化を図るとともに製品の安定供給を実行**

開発

製造

販売

マーケティング

## ● 販売

世界規模でコロナ関連需要が急増するなか  
適時迅速に受注を確保

➤ シリンジ・バイアルの出荷が大幅増加



シリンジ



バイアル



高付加価値バイアル



## ● 開発

プレフィルドシリンジと  
シナジー効果が高い医療機器

細胞医薬品製造に関する諸製品

開発を推進



➤➤ 商品競争力向上を促す

### ● 生産

新型コロナウイルス感染症の影響を最小限にとどめる

➤ 各工場の操業度を高水準で維持

➤ 機械化による省力化や改善活動の強化



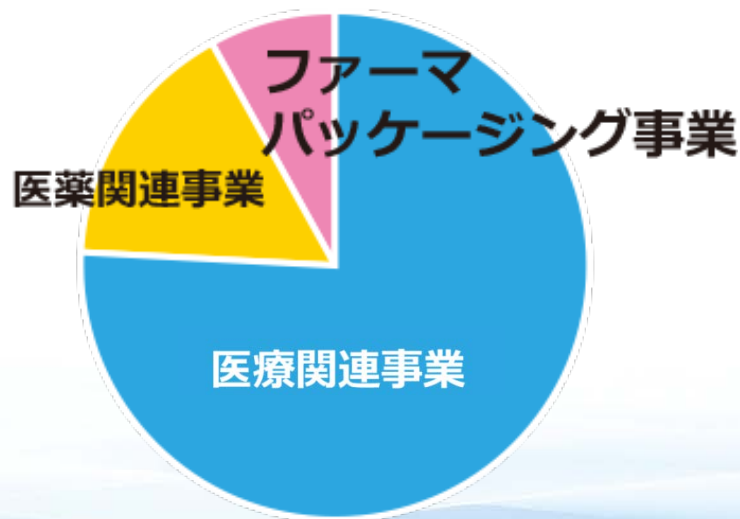
### ● その他

事業のブランドイメージ・認知度向上のため

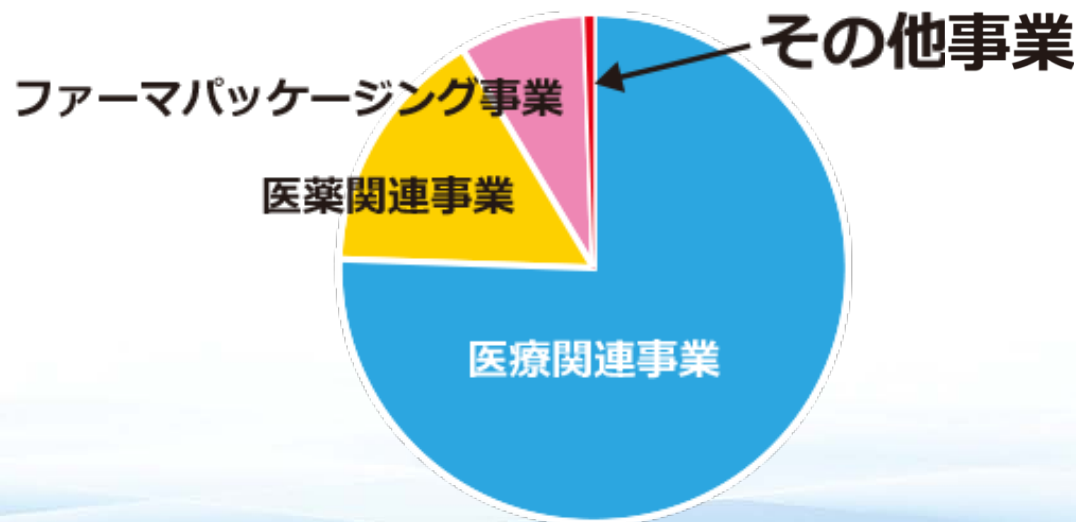
Webを活用した情報発信・各種ウェビナーを展開

# ファーマパッケージング事業の売上高

**463億61百万円**  
(前期比19.9%増加)



# その他事業の売上高 5億59百万円 (前期比19.1%減少)



# 設備投資

▶ 招集ご通知32ページ

- ニプロ 大館工場 . . . ダイアライザ関連設備  
既存設備の修繕工事
- ニプロファーマ伊勢工場 . . . 新棟建設工事
- 全星薬品工業 . . . 生産設備の増強
- ニプロメディカルコーポレーション  
. . . 透析クリニック不動産取得
- ニプロタイランドコーポレーション . . . 生産設備の増強
- ニプロファーマパッケージングアメリカスCorp.  
. . . 生産設備の修繕工事

**総額 465億60百万円**

# 資金調達

▶ 招集ご通知32ページ

①医療機器の安定供給責任を果たすため

②財務バランスの改善のため



2021年9月27日

**2026年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債  
(ソーシャル転換社債型新株予約権付社債)**

**300億円**



# 対処すべき課題

▶ 招集ご通知32～33ページ

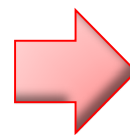
## ● 現時点の国内・世界経済

新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に収束

ロシア・ウクライナ情勢は先行き不透明な状況

## ● 今後の国内・世界経済

- ・ 資材・エネルギー等価格上昇による原価圧迫
- ・ 運送コストの増加傾向



しばらく継続する  
見込み



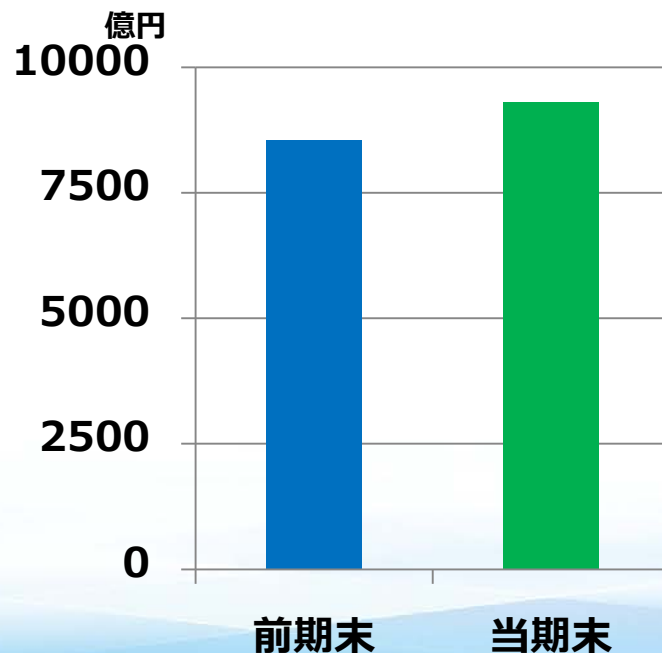
各地域の医療普及に貢献しつつ  
メーカーとしての責任を果たす

# 連結貸借対照表

▶ 招集ご通知49ページ

# 資産合計 9,303億21百万円

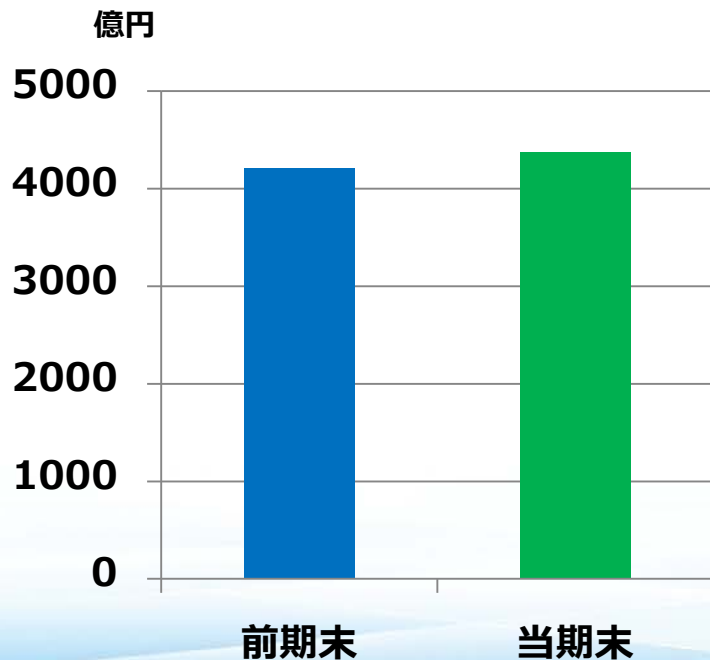
(前期末比759億24百万円の増加)



## 流動資産

# 4,374億59百万円

(前期末比160億90百万円の増加)



### 増加要因

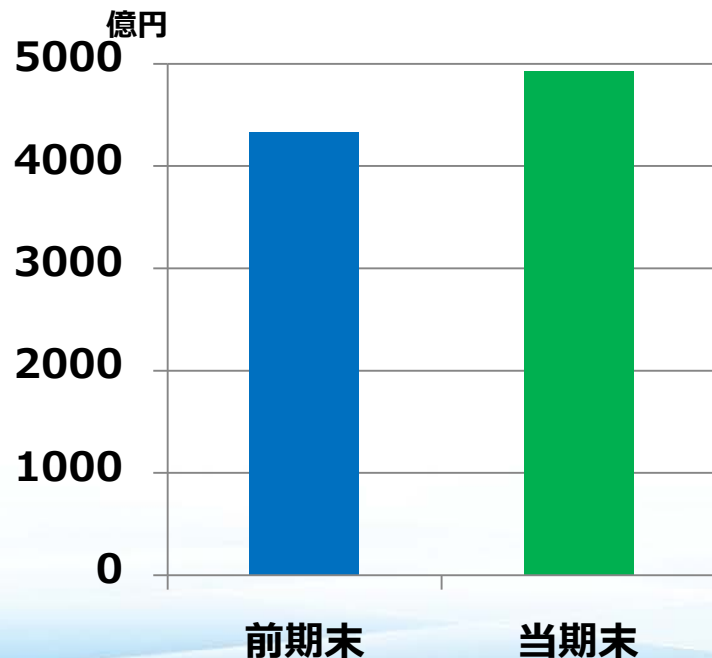
原材料及び貯蔵品

58億7百万円 ↗

## 固定資産

# 4,928億62百万円

(前期末比598億33百万円の増加)

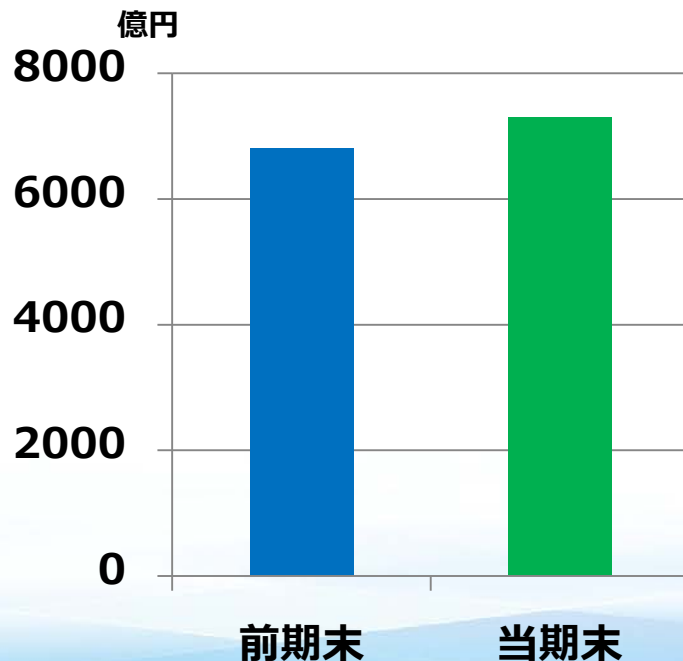


増加要因

建設仮勘定

280億82百万円 ↗

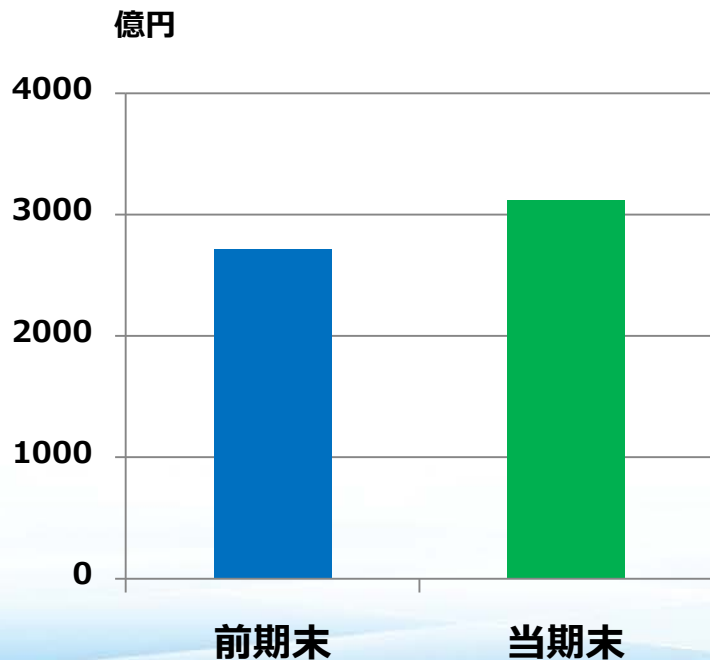
## 負債合計 7,304億53百万円 (前期末比501億10百万円の増加)



## 流動負債

# 3,119億93百万円

(前期末比404億91百万円の増加)



増加要因

短期借入金

166億87百万円

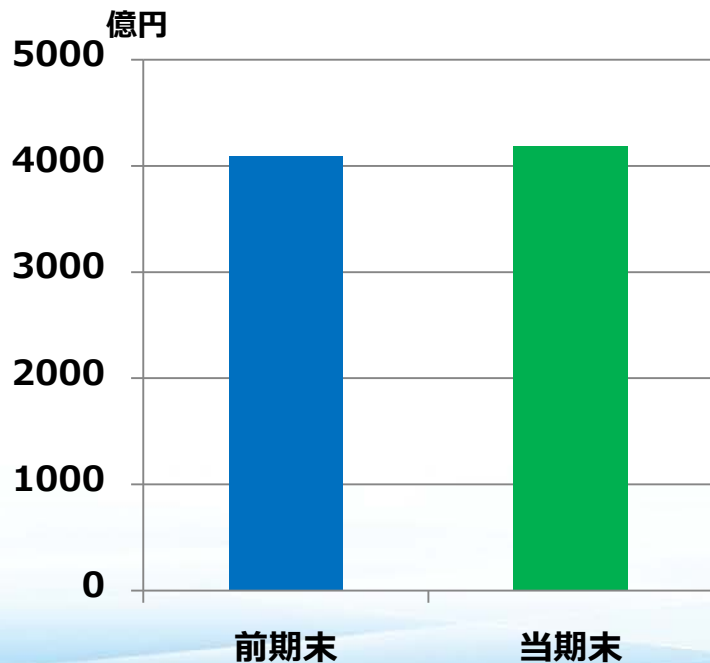




## 固定負債

# 4,184億60百万円

(前期末比96億18百万円の増加)



### 増加要因

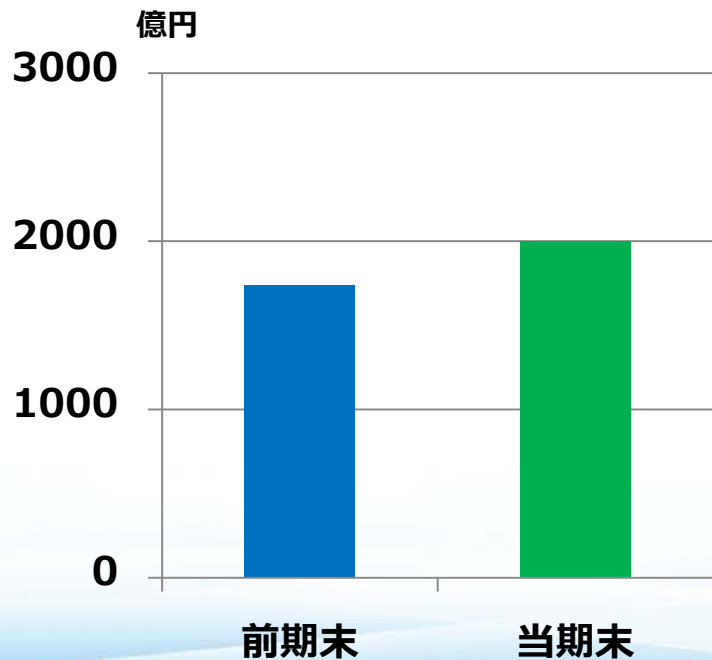
轉換社債型株予約権付  
社債

302億70百万円



# 純資産合計 1,998億67百万円

(前期末比258億14百万円の増加)



株主資本

73億35百万円



その他包括利益累計額

168億77百万円

